

戦争中の記憶

齊藤久仁子

私は生まれた時から戦時中だった。しかし、戦時中であるという意識はなかった。なぜなら、私の誕生、1932年（昭和7年）当時、戦地は中国内部や満洲（中国東北部）だったし、軍事訓練や出征兵士を見送る、戦死者を迎えるのは日常だったから。

1941年以降、ラジオから流れる歌は、軍歌が多かった。子供の歌も、

ヘイタイサンヨアリガトウ、太平洋行進曲 など。

941年4月より小学校を「国民学校」と呼ぶ。 46年3月まで。

1941年12月8日 太平洋戦争勃発 私 国民学校3年。

42年4月 東京空襲

太平洋の信託統治の島島、住民日本引き上げも。

住民がいるまま、米軍に奪われる。

呉の兵隊さん、民家へ泊まりに。我が家へも。

北九州空襲。呉も空襲警報。防空壕で震えて。

空襲が日本全国に。そのうち、呉は敵機がま

上に来るまで、警戒警報も鳴らさなくなった。

私は平気で敵機を見る程に。

45年4月1日 米軍沖縄上陸。

6日 県立呉第一高等女学校入学。毎日防空壕へ。

服装はモンペ。色物の長袖。防空頭巾を持って。

雨天体操場は軍需工場に。2年生以上は呉工廠へ。

学校は一年生だけ。空襲警報で、毎日防空壕へ。

7月1日夜 呉空襲。わが校も焼ける。

惣付から焼夷弾落下や火災を見ている。

以後 家を焼かれなかった者は毎日焼け跡整理に通学。

8月6日 朝礼の始まる直前、ピカッと光ったとたんドンと大

音。あわてて防空壕へ。しかし、何事もなく静か。学

校へ帰れと言われて外へ出ると、西の空にむくむくと

入道雲が。先が橙色に光って下から灰色の雲の糸を引きながら上へ上へと。

「あれはどうしたんですか？」との私達の質問に先生は、あそこで爆発があって、空気が希薄になって」と。それが広島に落とされた原子爆弾だったとは。私達は原子雲を見ながら、世界で最初にその出来方を学んだ者である。その後アメリカのビキニなどででの実験の原子雲を何度ニュースで見たことか。太平洋の島島では今でも核被害に苦しんでいる人が大勢いる。

8月15日 いつものように焼け跡整理に登校した。今日は警報が鳴らない。「今日はどしたんかね」と、空襲警報が鳴らないのを不思議がるほど、私達の感覚は麻痺していた。お昼に重大放送があると、前日から聞いていた。私達の学校で（その頃は校舎は焼けているので壕で）寝泊まりしていた海軍の兵隊さんがラジオを持って来て、入学以来、初めて私達生徒と兵隊さんが、同じ場に並んだ。12時になった。しかし、ラジオはガーガー言うだけで何を言っているのやら判らない。判らないまま、先生が「帰りなさい」と言われた。

家の近くまで帰った時、坂道の上から降りて来た、私より2歳下の男の子が「戦争に負けたの悲しいね」と言った。「え、負けた？」私は驚いた。どうしてこの子はそれを知ってるの？「欲しがりません、勝つまでは」と言い続けた毎日ではなかったか？

その夜、久し振りで空を見上げた。焼けた、灯のない町の空に、星は限り無く多く、天の川がくっきりと流れていた。ここ二年間、見ることのなかった天の川。初めて、あれが天の川だと教わった時の感動が蘇った。あ、私は天文学者になるのだった。爆弾から逃げ回る生活でそれを忘れていた。

1 1949年の”初めての市長選挙”で市長になった鈴木術(てだて)



(鈴木市長のなげき)・・・空襲で火攻め、枕崎台風で水攻め、そのうえ海軍はなくなって失業者が街にあふれている。あ～あ、呉市の復興はどうすればいいんだ。

呉市の復興を妨(さまた)げていたこと

- 人口はどんどん減って18万人、そして失業者、働く場所がない。
- 原料(鉄くず)だけはいっぱいあるのに、自由に操業(そうぎょう)させてくれない
→それは、呉を占領していた英連邦軍が許可してくれないから
どうしてか?

2 鈴木市長が考えたこと ～旧軍港市転換法(“軍転法”)～

◎ 特別法の制定で旧軍用地を払下(はらいさ)げてもらいそこに民間企業を誘致して産業を復興させよう

※ 特別法とは・・・日本国憲法第95条で、国会が特定の地方自治体だけに適用される法律を制定する時は、その地方自治体の住民投票で、過半数の賛成で成立する

ところが、このころは特別立法ばかりで、港町も温泉町もわれもわれもと特別法の制定を求めている状況だった。違いを出さない!

そこで、日本国憲法の第九条「戦争の放棄」に着目。これがこれからの日本が生きる途。だから、特別法案に『旧軍港市は、平和日本の理想の実現に寄与することを責務とする』をいれた。

さらに、『市長及び市民の責務』として『旧軍港市の市長は、その市の住民の協力により、平和産業港湾都市を完成することについて、不断の活動をしなければならない』と入れた。

これでうまくいくと思っていたのだが、GHQがなかなか承認してくれなかった。

なんでか、GHQ内には法案の成立で、将来、外国の基地を建設するのに支障をきたすおそれがあるという意見があったから。

やむなく、「本案は他の外国の基地が施設されることをさまたげるものではない」ことなどを列記した『懇情書』を提出。

これによってマッカーサー元帥は、日本の国会にこの法案を通過せしむべきとの要請書を送るという確約を得た。

50年3月27日国会に提出、4月11日に可決成立、そしてその後・・・

50年6月4日に、旧軍港4都市で一斉に住民投票がはじまり、その結果、呉市では投票率82.2%、うち賛成()%で旧軍港市転換法は成立し、6月28日に公布・施行された。

3 その後の呉市・・・

50年6月25日～朝鮮戦争はじまる。呉市は国連軍の兵站、補給基地となる。

マッカーサー指令によって日本政府は7万5千人の警察予備隊をつくる。

9月8日、サンフランシスコ講和条約、その直後に日米暗線保障条約を結ぶ。

52年に警察予備隊は保安隊に、54年に自衛隊になった。

呉市に海上自衛隊呉地方総監部が置かれた。

4 そして、いま・・・

「新しい戦前」といわれる。どうしてか?

- 「専守防衛」を超えて「敵基地攻撃能力」を持たせようとして射程1000kmを超えるミサイルを保有・開発。それを積むもののひとつが呉基地の潜水艦。
- 5年間で43兆円の防衛費→財源は()。防衛装備(武器)の輸出を解禁→「平和国家」が「死の商人」に

どうして、こうなるの?

- 三つの覇権(はけん)主義国家がヨーロッパと東アジアでせめぎ合うなか、「台湾有事は日本有事」だと。
- なんかこれは「満州は日本の生命線」と言っていた時代に似てきた。
- 戦中派、戦後派(戦争2世)が少なくなり戦無派が増えて、あったことをなかったかのよう
に。
例、「南京虐殺の30万人は大げさだ」「南京虐殺はあったかどうか疑わしい」
「強制連行はなかった」「慰安婦は業者が勝手にやったこと」「沖縄戦での集団自決は米軍に追い詰められた結果・・・」など、歴史の書き換えが戦争前夜のもう一つの姿。

そして、いま「はだしのゲン」がいまブーム・・・

今日のようなお盆に、戦争で亡くなったご先祖さまの声を聴く集いがいつまでも続きますように。